

事業事前評価表

国際協力機構南アジア部南アジア第二課

1. 基本情報

- (1) 国名：パキスタン・イスラム共和国（パキスタン）
(2) プロジェクトサイト／対象地域名：パンジャブ州ムルタン県
(3) 案件名：南パンジャブ地域における小児保健医療施設整備計画
(The Project for the Improvement of Child Health Care Facilities
in South Punjab)

G/A 締結日：2026年1月13日

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
パキスタンは母子保健指標が世界でも最低水準の国の一であり、千人当たり新生児死亡率は38（世界平均17）と世界で二番目に高く、千人当たり乳児死亡率は50（世界平均27）、千人当たり5歳未満児死亡率は58（世界平均37）と、全世界に比べて改善が遅れている（UNICEF, 2023年）。パンジャブ州は同州内の保健指標の地域格差が大きく、国家保健サービス・国家行政・調整省（Ministry of National Health Services, Regulation and Coordination）が実施した県別の調査（2014年）によると、同州南部はいずれの保健指標においても同州北部と比較して低く、特に乳児死亡率、5歳未満児死亡率は国家平均・州平均を大きく上回る県が多く存在し、同州南部での母子保健指標の改善は喫緊の課題となっている。かかる状況に関し、パンジャブ州政府は、「パンジャブ州保健セクター戦略（2019-2028）」において、質の高い母子保健サービスへのアクセス向上に向けた、包括的緊急産科ケアを提供するための医療施設のサービス提供体制の強化や、第三次医療施設における質の高い患者中心ケアの強化の必要性を掲げている。

同州の第三次医療施設であり、新生児・小児専門病院である「ムルタン小児病院」では、パンジャブ州南部の他、近隣州（バロチスタン州北東部、シンド州北部、ハイバル・パフトゥンハーハー州（以下、「KP州」という。）南部）を含めた広範囲の重症患者の受入れに加え、新生児・小児医療の最後の砦として、同域内の別の第三次医療施設からも患者の紹介・搬送があり、施設の受け入れ可能な範囲を超えて、救急・外来・入院を受け入れている。特に病床や救急・外来の受入スペース等が不足しており、未熟児等のハイリスク新生児の集中治療室では、既存の機材が不十分であるため、1つの保育器に2名の新生児を入れてケアが提供されている。救急外来には小児患者が溢れ、廊下にベッドが並べられている状況であり、医療サービスの量・質ともに多くの課題がある。また、

同病院は災害拠点病院としての機能も果たし、2022年の洪水発生時には他州から延べ約2,300人の患者を同病院で受入れるとともに、同病院の医療従事者等を近隣州の被災エリアに派遣し、医療キャンプの設置・緊急医療支援等を行った。同国政府の発表した復興支援計画「Resilient, Recovery, Rehabilitation, and Reconstruction framework Pakistan (4RF)」(2023年1月)では、将来的な災害に備えた保健医療施設の機能強化を掲げており、今後も災害拠点病院として同病院が果たす役割は大きく、緊急時における新生児・小児に対する医療サービスの質向上を図ることが求められている。

「南パンジャブ地域における小児保健医療施設整備計画」(以下、「本事業」という。)は、パンジャブ州ムルタン県の公的三次医療施設であるムルタン小児病院を対象に、ハイリスク新生児・小児に対する保健医療サービスにかかる診断・治療に必要な施設及び医療機材の整備を行うことにより、同病院の診断・治療体制の強化、また同州と隣接州に広く裨益する高次小児保健医療サービスの質の向上及び災害拠点病院としての更なる機能強化を図るものであり、同国の保健セクターにおける重要事業と位置付けられる。

(2) 保健セクターに対する我が国及びJICAの協力方針等と本事業の位置付け
対パキスタン・イスラム共和国国別開発協力方針(2023年9月)の重点分野として「人的資本への投資と社会サービスの拡充を通じた人間の安全保障の確保と社会の強靭化」を掲げ、母子保健を中心とした保健システムの強化に貢献するとしており、対パキスタン・イスラム共和国JICA国別分析ペーパー(2022年10月)では「保健プログラム」が重点分野であると分析している。

また、本事業は、JICA課題別事業戦略「保健医療」の中で掲げるクラスター事業戦略「保健医療サービス提供強化～強靭・公平・持続可能なUHCの達成～」及び「母子手帳活用を含む質の高い母子継続ケア強化」に合致している。FOIPでは、国際保健への取り組みが挙げられており、同地域の保健医療分野における連携協力による「強靭・持続可能な社会」の実現を目指している。

更に、COP27(2022年11月)及び洪水復興支援国会合(2023年1月)では2022年に発生した大規模洪水の復興支援が呼びかけられ、同国外務大臣来日時(2023年7月)には、災害対策の一環として保健分野に対する支援要望が寄せられた。本事業はこれら方針、分析及び戦略に合致する。

(3) 他の援助機関の対応

パンジャブ州では、国連児童基金(UNICEF)、世界保健機関(WHO)等が第一次・第二次医療施設におけるワクチン接種支援や、第一次医療施設への資金援助を通じた医療サービス向上を支援した他、UNICEFが妊産婦と5歳未満児の健康記録を推進する取組を実施している。世界銀行は24時間体制で受け入れを実施する施設の新築・改修を実施中(2020年-2025年)だが、本事業の対象

県との重複はないことを確認した。また 2022 年洪水復興支援の観点では、国連開発計画（UNDP）や世界銀行が WHO と連携し 4RF の策定を支援した。

3. 事業概要

（1）事業概要

① 事業の目的

本事業は、パンジャブ州ムルターン県のムルターン小児病院において、ハイリスク新生児・小児に対する診断・治療に必要な施設及び医療機材の整備を行うことにより、同病院における診断・治療体制の強化及び災害拠点病院としての機能向上を図り、もって南パンジャブ地域及び近隣州における小児保健医療サービス全体の質の向上に寄与するもの。

② 事業内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】新生児集中治療室、小児集中治療室、手術室、画像診断室、中央滅菌材料室、救急部門、高度治療室（総延床面積約 5,285 m²）

【機材】X 線 CT 装置、据付型（一般）X 線撮影装置、移動式 X 線撮影装置、開放式保育器、腹腔鏡システム等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施工・調達監理等

③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）

直接受益者（約 6.5 万人/年間）：パンジャブ州保健局及び対象医療施設関係者・利用患者

最終受益者（約 3,100 万人）：パンジャブ州南部及び周辺州（シンド州北部、パロチスタン州北東部、KP 州南部）の住民

（2）総事業費

3,301 百万円（概算協力額（日本側）：2,910 百万円、パキスタン側：391 百万円）

（3）事業実施スケジュール（協力期間）

2025 年 12 月～2031 年 11 月を予定（計 72 か月）。完工時（2028 年 11 月）をもって事業完成とする。

（4）事業実施体制

1) 事業実施機関：パンジャブ州保健局（Health Department, Government of Punjab）

2) 運営・維持管理機関：パンジャブ州保健局（Health Department, Government of Punjab）及びムルターン小児病院（The Children's Hospital and ICH Multan）

（5）他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動

パンジャブ州では、実施中の技術協力「パンジャブ州母子保健強化プロジェクト」(2021年～2025年)を通じ、第一次医療施設の医療従事者、女性保健訪問員等の妊産婦・新生児ケアに関する能力強化に加え、同州の保健行政担当者の監督機能強化に取り組んでいる。本事業にて、教育機関であるムルタン小児病院に対する施設整備及び機材供与を行うことにより、新生児に対する保健医療サービス強化のための研修の質の向上や、第一次・第二次医療施設から搬送された患者が同病院で質の高い医療サービスを享受し、新生児期から幼児期までの包括的なケア体制の構築に寄与することが期待される。

2) 他援助機関等の援助活動：特になし

（6）環境社会配慮

1) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：C
- ② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構 環境社会配慮ガイドライン」(2022年1月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

（7）横断的事項

気候変動対策・生物多様性：

本事業は、三次医療施設及び機材の整備を行うことにより、災害拠点病院としての機能向上を目的としており、将来的な気候変動による災害に対応する適応策が検討されている他、施設計画において、断熱材の採用など気候変動による高温化に対する適応策が検討されていることから、気候変動適応策に資する可能性があると考えられる。また、上述の対応策が講じられることにより、エネルギー使用量の削減につながり、温室効果ガス排出抑制にも寄与する可能性も考えられ、気候変動緩和策に資する可能性もあると考えられる。

（8）ジェンダー分類：

【ジェンダー案件】■GI (S) (ジェンダー活動統合案件)

＜活動内容/分類理由＞大部屋の病棟にカーテン等の間仕切りが無いことや、来院した患者家族が授乳する際の授乳室の未設置のためにプライバシーが守られる環境が無い等のジェンダー課題に対し、授乳室や男女別のリカバリー床などの性別に応じたニーズを反映した施設設計を行うことを先方実施機関と合意済みであるため。

（9）その他特記事項：特になし

4. 事業効果

(1) 定量的効果

アウトカム（運用・効果指標）

指標名	基準値 (2024年実績値)	目標値（2031年） 【事業完成3年後】
新生児・小児を対象とした緊急手術件数（件/年）	2,958	5,170
先天性心疾患等の小児を対象とした心臓外科手術件数（件/年）	112	300
新生児集中治療室における患者の生存率（%）	71	81
小児集中治療室における患者の生存率（%）	67	76

(2) 定性的効果

- ①精密検査機器の導入および治療設備の拡充、効率的な動線の実現により、重篤な患児への診断と治療の質が向上する。
- ②高度医療サービスへのアクセス向上により、患者およびその家族の身体的・経済的負担が軽減される。
- ③臨床研修環境の改善により、新生児・小児専門医療に関する医師や看護師等の能力が向上する。
- ④災害拠点病院としての機能強化により、災害発生時の救急対応力が向上する。

5. 前提条件・外部条件

前提条件・外部条件：対象地域において更なる大規模な自然災害の発生、治安悪化等の状況変化が起きない。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

同国無償資金協力「イスラマバード小児病院改善計画」（評価年度 2011 年）の事後評価では、医療機材の運営維持管理のための予算や人員体制の確保の重要性が指摘されている。かかる教訓を踏まえ、本事業では、対象医療施設の運営維持管理能力や医療サービスの技術レベル、また、修理対応や交換部品、消耗品の現地調達が可能であること、更に、適切な予算・人員の確保がなされることを十分に確認した上で機材計画を策定している。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針・分析に合致する。また、本事業は、ムルタン小児病院において、医療施設及び機材の整備を行うことにより、ハイリスク新生児・小児に対する医療サービスにかかる診断・治療の強化を図り、小児保健医療サービスの質の向上を図るものであり、SDGs ゴール 3「健康な生活の確保と福祉の推進」、ゴール 5「ジェンダー平等の達成」、及び将来的な災害に備えた医療施設の機能強化を通じてゴール 13「気候変動とその影響への緊急の対処」に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

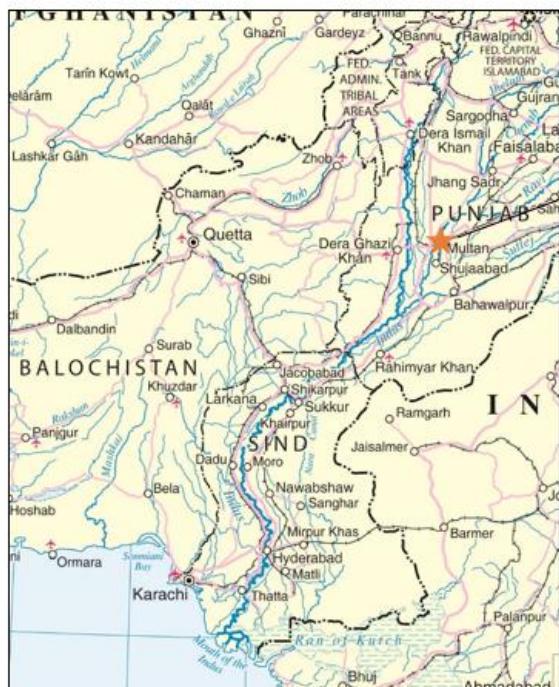
事業完成 3 年後 事後評価

以 上

別添資料 南パンジャブ地域における小児保健医療施設整備計画 地図

別添

南パンジャブ地域における小児保健医療施設整備計画 地図



出典 : [Pakistan | Geospatial, location data for a better world](#)

本図は国連作成地図を加工した。

【免責条項】

免責: 本地図上の表記は図示目的であり、いずれの国及び地域における、法的地位、国境線及びその画定、並びに地理上の名称についても、JICAの見解を示すものではありません。

Disclaimer: This map is only for illustrative purposes and does not imply any opinion of JICA on the legal status of any country or territory, the border line of any country or territory or its demarcation, or the geographic names.



出典 : Google map (地図)

データ©2023, Google) より JICA 作成。